



2008年 子年
 会計課 宮國 さきえ 作



新年のご挨拶



鎌田 昭良

明けましておめでとうございます。昨年は、防衛省にとって大きな変動のあった年でした。一月には何十年来の悲願であった省昇格が成就し、喜んでおりましたら、年の終わりには本当に残念なことが生起し、国民の方々の信頼を損ねることになってしまいました。私達もこのことを他人事とは考えずに、「国民の目線に立って」各々の業務に従事するという「基本」に立ち返るべきと考えます。

個人的には昨年は「南の方角」に縁のある年でした。防衛交流の推進のため、オーストラリアに三度出張し、インド、パキスタンにも初めて訪れることができ、また九月からは沖縄勤務となりました。沖縄勤務は未だ四か月ですが、「沖縄防衛局は防衛行政の最前線である」ことを実感しています。非力な最前線の指揮官ですが、今年も皆様方に支えられて各種の難問に取り組んでいきたいと思えます。

どうか本年もよろしく申し上げます。

(局長)

どうぞございます。



今年も頑張ります！



富山 正徳
(施設取得第3課)

昭

和23年生の子年でありますから、60才の「うまりどし」ということになります。・・・24才の「うまりどし」はユメもチボウもある独身生活を謳歌、36才、48才の「うまりどし」は三人の子供に夢を託し、60才の「うまりどし」は孫に期待する「悲しき60才」であります。唯一の楽しみであるゴルフについては、「土曜会は永久に不滅です」と明言する島袋テツ「永久会長」のもと、永久会員の我々ゴルフメンバーは退職後もしぶとくお付き合いさせて頂く所存であります。



比嘉 健一
(施設取得第4課)

明

けましておめでとうございませう。5回目の年男となり、先人の言葉「光陰矢の如し」を正になるほどな〜と実感しつつ新年を迎えました。昨年までは除夜の鐘と共に近くの識名宮に初詣し「今年こそは禁煙を！」と神頼みしますが、力んだ年ほど量が増えたので、今年「出来れば止める！」程度にしました。三日は、「公民館(字真地)のスピーカーから流れる「かぎやで風」を聞きながら、シシ・カマブクで祝います。公務員生活も残り少なくなり、健康で仕事に、趣味のゴルフに(自前で)頑張る、無事にホイッスルを聞けたらいいな〜と思っております。子年、皆様にとっても繁栄の年になりますよう祈ります。



上原 すがの
(施設取得第1課)

み

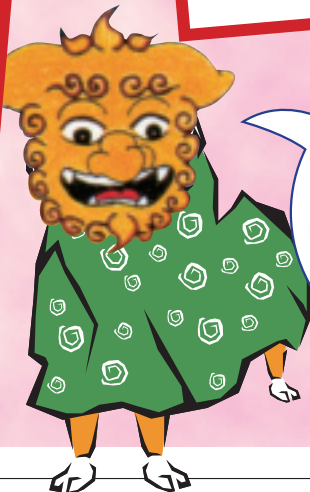
なさん、明けましておめでとうございませう！「すがのさんの干支は何？」と聞かれ、「子です。」と答えると、「そんな感じがする。」と言われる度、チヨロチヨロと(機敏に?)動き回る自分を反省していただきますが、3度目の年女を迎えるに当たり、今年も、何事にも「落ち着いて」行動していきたいと思えます。(・・・が、やっぱり無理かなあ。)



當麻 育雄
(設備課)

遂

に3回目の年男を迎えてしまいました。振り返ってみれば2回目の年男からの12年は転勤に伴う初めての一人暮らし、結婚、子供の誕生、係長への昇進と人生の大きなターニングポイントが満載の12年であったと思います。次の12年は子供の成長が中心(小、中、高校の入学等)の12年になりそうです。さて、今年の抱負ですが子供の成長を見守り、支えるためにも健康に注意し、お酒の量を減らして運動を増やすことを目標に頑張りたいと思えます。実は毎年心では誓っていますが達成した年はありません・・・今年こそ！



今年の干支は「子(ねずみ)」です。ねずみは働き者で、沢山の子を産むことから子孫繁栄を導き、また、災いから家を守るとも言われ、とても縁起のいい干支です。新年号では、当局の子年の職員にねずみに負けじと新年の抱負を語っていただきました。



2008



明けましておめで

年男・年女の当局職員



比嘉 順一郎
(嘉手納防衛事務所)

平

成20年「子年」年男を迎えました。

月日の経つのは早いもので、色々な人と関わりを持たせて頂きながら、良い具合に年を重ねて来ました。これまで何事もなく毎日を過ごしてきましたが、平穩な日々を過ごせることが一番の幸せだと感じています。

そろそろ身体のあちこちにガタがくる年齢ですので、今年は「健康第一」を目標に健康管理に努めたいと思います。



濱元 勉
(総務課)

あ

けましておめでとうございます。皆様も新たな希望、目標、或いは夢を抱きながら、新年を迎えたことだと思います。私も4回目の年男を迎えましたが、これから5回目の年男までの間、まさに人生の中で最も重要な時期ではないかと思っています。じっくりあせらず自分と良く相談しながら、この時を刻んでいきたいと思っています。皆様にとりまして幸多き一年でありますように。



大城 悠菜
(総務課)

い

いソーグワチでーびる。2回目の年女です。早いもので採用5年目を迎えました。仕事では昨年9月から秘書業務に従事しておりますが、未だに、ふとした時、うちなーぐちを発したり、ガハハッと大笑いしてしまいます。そこで、今年の目標はズバリ！『おしとやかな女性』になること。昨年は、『女性の品格』という本が流行りましたが、遅ればせながら購入しようと思っています。今年一番の愛読書になること間違いなし。

また、私事では昨年一人暮らしを始めました。田舎の大家族から離れ、都会での一人暮らしはやはり寂しいですが、これも女を磨く良いチャンスだと思って一生懸命頑張ります。



上地 聡
(会計課)

年

男を迎えました！早いもので3度目です。一周年前の12年間（24歳～35歳）は、転勤・結婚・子供の誕生と、自分にとって身辺が大きく変動する激動の時代でした。それだけに、自分のことだけに精一杯であったように思います。これからの12年間は、家庭・趣味・職場とそれぞれの分野で広い視野を持ち、一層飛躍の年としたいと思います。

あっ！今年は庁舎移転があります。局職員皆様のご協力をよろしくお願いします。



原 裕樹
(施設管理課)

入

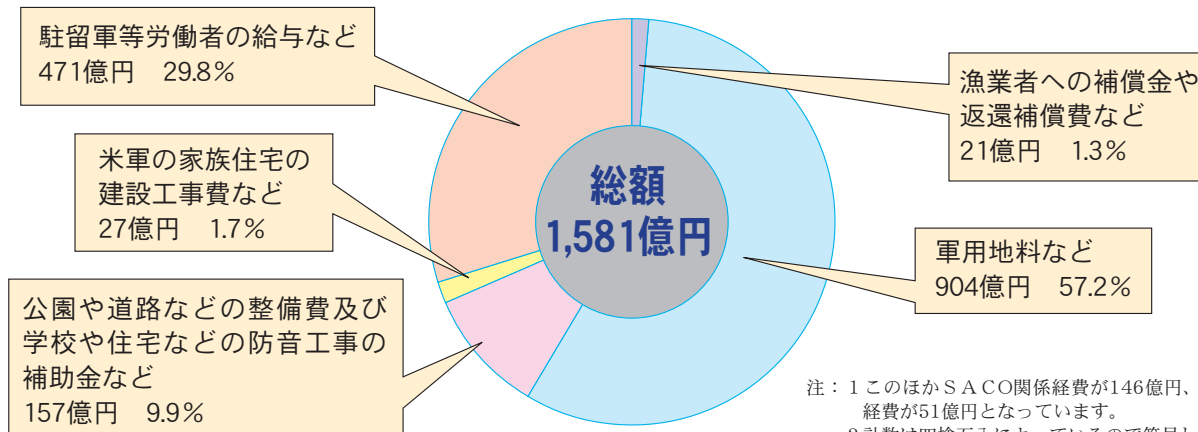
局当初、県外出身の私は毎日のように報道される基地関連の記事・ニュースに驚く日々でした。局職員として3年を迎えようとしている今では、防衛局の職務の重要性と役割を身をもって感じています。まだまだ未熟者ですが今後も精一杯頑張ります。

運動不足解消のため昨年12月に「NAH Aマラソン」に出場しましたが、練習不足がたたり足が攣ってペースが落ち、39キロ過ぎで制限時間を超えてしまい惜しくも完走できませんでした。今年は練習をやり直し、2月の「おきなわマラソン」でリベンジしたいと思います。



平成20年度 沖縄関係予算政府案決定

平成20年度沖縄関係予算政府案（歳出ベース）は、前年度より38億円減（2.4%）の1,581億円となりました。



注：1 このほかSACO関係経費が146億円、米軍再編関係経費が51億円となっています。
2 計数は四捨五入によっているので符号しません。

酔芙蓉



酔芙蓉
スイ
フ
ヨウ

金武防衛事務所長

仲間 俊廣

事務所の裏隣にあまり大きくない居酒屋がある。その敷地内に3メートル程の木が生えていて、ちようど事務所のトイレの窓から見える。用を足す時はついついその木を見てしまう。その木も、また、無防備な私を見ているのかも知れない。いわばトイレの友とも言えよう。

その木に10月初めごろ奇妙な花が咲いた。その花は空に向かってふんわりと優雅に咲いているのであるが、なぜか花の色がまちまちである。

そこで、事務所の職員に聞いてみた。「隣の居酒屋の木に咲いている花は何の花？」女性職員「よく分かりません。芙蓉かも知れませんが」私「あの花おもしろいよ。色がまちまちだよ」ある職員「いや違います。色が変わっていくんです。だけど、何の花かは分かりません」

よく観察してみると、朝トイレに行つた時に純白だった花は、夕方には濃いピンク色に変わっていた。赤みがかかって萎れていた花もあった。おそらく、昨日のうちにピンク色から赤みがかかって、今日萎れてしまったのだろう。

私「そうだね。色が変わっているよ」ある職員「そうでしょう。」別の職員「酔っぱらっているんじゃないですか。ハハハ」ある職員「居酒屋だから酒でも飲ませているんじゃないですか。ハハハ」女性職員「それじゃ酔芙蓉ですかね」私「まさか、そういう名前の花はないだろう」

そうは言ったものの、話の展開と発想が面白かったので調べてみた。すると、何と名前もその由来も皆で話した内容そのものだった。酒を飲んだら人の顔色が赤みがかかるとに似ていることから、そう命名されたとのこと。

皆、最初からこの花のことはよく知らず、女性

職員が「芙蓉かも知れない」程度の知識しか持っていなかったものの、たまたま、居酒屋の敷地に咲いていたこともあって、冗談で話したことが、ずばりそのものだったことに皆で大笑いした。

酒が好きな私が、酔芙蓉を知らなかった。私は、この木に大変失礼した。と同時に、また、感謝もした。色が変わる花もあることを還暦を前にして初めて教えてくれたことに対してである。

この木への感謝をこめて、隣の居酒屋に行つて、スィ(酔)、スィ(酔) 出来ればと考えているところである。



まんがで読む防衛白書を刊行



この度、平成19年版まんがで読む防衛白書を刊行しました。

今回のまんがで読む防衛白書は、「弾道ミサイルから日本を守る」と題して、わが国の弾道ミサイル防衛（BMD）をストーリー仕立てで分かりやすく丁寧に紹介したものです。

本書は、防衛省ホームページにも掲載されています。